

## 第2節 資源循環プロジェクト

『もったいない』の心を大切に、まずは、ごみの発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）の2Rに特化してごみを減らし、それでも出たごみは再生利用（リサイクル）により循環型社会の形成を推進します。

### 【奈良市環境基本計画（改訂版）中間見直しの関連指標】

指標		平成28年度	平成29年度	目標値 (平成32年度)	担当
ごみ搬入量 (再生資源搬入量を除く。)(t)		91,137	90,615	91,000	廃棄物 対策課
家庭系ごみ搬入量(t)		56,946	56,472	53,700	
事業系ごみ搬入量(t)		34,191	34,143	37,300	
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント	
5	4	4	3	着実な進展は評価できる。さらに、家庭系ごみ搬入量の減少を目指し、「手つかず食品」の廃棄を無くすために食育と絡めた啓発を実施するなど、地道で継続的な取組を期待する。	
総合評価		前年度からの進捗			
A					

### 1 一般廃棄物の現状

家庭系ごみ（家庭から排出されるごみ）は、平成11年3月の全市9種分別（燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみ、有害ごみ、プラスチック製容器包装、空き缶、ガラスびん、ペットボトル、飲料用紙パック）の導入を契機に減量が進み、平成29年度の搬入量はピーク時の平成10年度より約34%減少しています。

また、事業系ごみ（事業所等から排出される一般廃棄物）についても、一般廃棄物収集運搬業許可業者に対する搬入の指導や、自主的にごみ減量に取り組む事業所の増加により、平成13年度以降減量が進み、平成29年度の搬入量はピーク時の平成12年度より約43%減少しています。

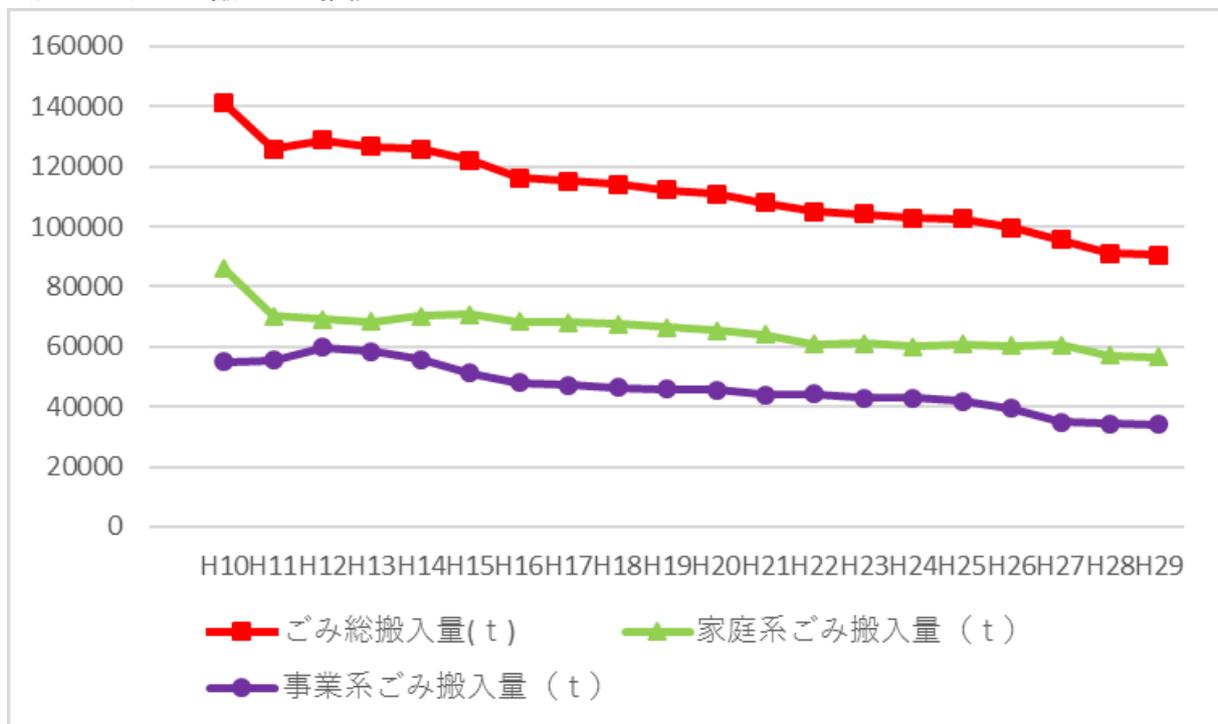
今後も循環型社会の形成を推進するため、市民や事業者にごみの減量意識の向上や適正排出を目的とした啓発や広報を実施します。

(表2-2-1) 年度別ごみ搬入量 (単位: t)

年度	ごみ 総搬入量	家庭系ごみ 搬入量	事業系ごみ 搬入量	対前年度増減率		
				総搬入量	家庭系	事業系
10	140,995.61	86,011.66	54,983.95	-	-	-
11	125,706.03	70,197.25	55,508.78	-10.8%	-18.4%	1.0%
12	128,663.33	68,998.79	59,664.54	2.4%	-1.7%	7.5%
13	126,560.77	68,172.17	58,388.60	-1.6%	-1.2%	-2.1%
14	125,765.05	70,079.96	55,685.09	-0.6%	2.8%	-4.6%
15	121,998.64	70,717.75	51,280.89	-3.0%	0.9%	-7.9%
16	116,179.29	68,276.33	47,902.96	-4.8%	-3.5%	-6.6%
17	115,174.68	68,055.96	47,118.72	-0.9%	-0.3%	-1.6%
18	113,906.84	67,537.15	46,369.69	-1.1%	-0.8%	-1.6%
19	112,101.59	66,300.39	45,801.20	-1.6%	-1.8%	-1.2%
20	110,951.10	65,380.16	45,570.94	-1.0%	-1.4%	-0.5%
21	107,873.34	63,876.20	43,997.14	-2.8%	-2.3%	-3.5%
22	105,019.60	60,843.65	44,175.95	-2.6%	-4.7%	0.4%
23	104,005.40	61,039.71	42,965.69	-1.0%	0.3%	-2.7%
24	102,723.84	59,867.02	42,856.82	-1.2%	-1.9%	-0.3%
25	102,618.74	60,689.69	41,929.05	-0.1%	1.4%	-2.2%
26	99,567.94	60,258.61	39,309.33	-3.0%	-0.7%	-6.2%
27	95,515.95	60,605.70	34,910.25	-4.1%	0.6%	-11.2%
28	91,137.13	56,945.94	34,191.19	-4.6%	-6.0%	-2.1%
29	90,614.78	56,471.79	34,142.99	-0.6%	-0.8%	-0.1%

※ 平成16年度以前は月ヶ瀬村・都祁村を含まない。

(図2-2-1) ごみ搬入量の推移



(表2-2-2) 平成29年度のごみ搬入量

系列	ごみの種類	搬入量(t)	総搬入量に対する割合	系列に対する割合
家庭系	可燃	47,115.22	52.0%	83.4%
	不燃	5,288.79	5.8%	9.4%
	大型	2,109.62	2.3%	3.7%
	埋立	1,949.87	2.2%	3.5%
	有害	8.29	0.0%	0.0%
	小計	56,471.79	62.3%	100.0%
事業系	可燃	33,921.33	37.5%	99.4%
	不燃	221.66	0.2%	0.6%
	埋立	0.00	0.0%	0.0%
	小計	34,142.99	37.7%	100.0%
総搬入量		90,614.78	100.0%	

## 【実施事業】

### 1 再資源化事業

#### (1) 再生資源定期収集

平成4年7月から空き缶と空きびんの分別収集をモデル地区で開始し、平成9年12月にはペットボトル・飲料用紙パックを回収品目に加え実施してきました。

全市での再生資源分別収集として、平成11年3月22日から、空き缶・ガラスびん・ペットボトル・飲料用紙パック及びプラスチック製容器包装の分別収集を開始し、再資源化を図っています。

(表2-2-3) 再生資源定期収集の回収実績

単位：kg

種別	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
空き缶	アルミ	190,085	176,920	181,969	221,324	215,715
	スチール	221,463	233,438	207,687	251,910	232,470
	計	411,548	410,358	389,656	473,234	448,185
ガラスびん	1,666,816	1,696,965	1,718,519	1,730,300	1,760,920	
ペットボトル	408,015	381,895	363,575	449,150	436,570	
紙パック	72,513	67,471	65,181	74,150	72,441	
合計	2,558,892	2,556,689	2,536,931	2,726,834	2,718,116	

種別	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
プラスチック製容器包装	2,583,320	2,610,490	3,227,400	3,201,840	3,184,970

#### (2) 公共施設資源回収

平成4年9月から、公共施設における空き缶回収を開始し、平成9年12月にはペットボトル・飲料用紙パックを回収品目に加え、現在、市役所・出張所・行政センター・公民館・人権文化センター・連絡所・保健所等を拠点として回収を行い、再資源化を図っています。

(表2-2-4) 公共施設資源回収実績

単位：kg

種 別	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
空き缶	アルミ	14,256	13,704	17,793	18,483	15,626
	スチール	21,385	20,552	26,691	27,725	23,438
	計	35,641	34,256	44,484	46,208	39,064
ペットボトル	38,775	39,210	48,895	51,385	37,270	
紙パック	6,057	6,174	5,499	9,732	7,188	
合 計	80,908	77,170	98,878	107,325	83,522	

## (3) 環境清美センター内資源回収場での資源回収

環境清美センターに自己搬入された再生資源を分別回収し、ごみ減量と再資源化を図っています。

(表2-2-5) 環境清美センター内資源回収場での資源回収実績

単位：kg

種 別	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
空き缶	アルミ	30,544	26,366	16,698	9,024	7,675
	スチール	45,812	39,550	25,062	13,536	11,513
	計	76,356	65,916	41,760	22,560	19,188
ガラスびん	152,054	140,125	111,151	64,938	70,694	
ペットボトル	35,295	33,135	26,910	14,040	13,530	
紙パック	7,470	6,585	4,350	1,590	1,170	
合 計	271,175	245,761	184,171	103,128	104,582	

種 別	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
新聞	137,200	124,200	132,010	70,950	66,430
雑誌	363,500	346,330	289,550	158,130	161,930
ダンボール	196,470	204,360	245,205	168,730	164,610
布類等	161,740	138,720	191,280	94,160	74,860
合 計	858,910	813,610	858,045	491,970	467,830

## (4) 発泡スチロール製食品トレイ回収

平成7年度から市役所・出張所・行政センター・公民館・人権文化センター等を回収拠点として、発泡スチロール製食品トレイを回収し、ごみ減量と再資源化を図っています。

(表2-2-6) 発泡スチロール製食品トレイ回収実績

単位：kg

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
880	1,160	1,850	915	800

## (5) 使用済小型電子機器の回収

平成26年7月から、市役所・出張所・行政センター・民間施設等、市内の24か所を回収拠点として使用済み小型電子機器の回収を開始し、ごみ減量と再資源化を図っています。

平成29年度回収実績 6.89t(平成29年4月～平成30年3月)



## (6) 生ごみ処理機器購入助成

家庭内で発生する生ごみを自家処理するため生ごみ処理機、生ごみ堆肥化容器、ダンボールコンポスト容器を購入する市民に対し、購入費の一部を助成しています。

### ○助成内容

- ・ 生ごみ処理機 購入価格の2分の1（限度額20,000円）で1世帯1基
- ・ 生ごみ堆肥化容器 購入価格の2分の1（限度額 5,000円）で1世帯2基以内
- ・ ダンボールコンポスト容器 購入価格の2分の1（限度額 2,000円）で1世帯年4回以内（同一月に複数回の申請は不可）

(表2-2-7) 生ごみ処理機器購入助成実績

単位：件

種 別	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
生ごみ処理機	41	43	48	43	34
生ごみ堆肥化容器	67	45	43	26	18
ダンボールコンポスト容器	—	—	—	—	7
合 計	108	88	91	69	59

## 2 ごみ減量啓発キャンペーン

### (1) ごみ減量及び美化に関する啓発作品（ポスター）の募集 （夏休み期間中）

廃棄物問題に対する意識啓発を目的に、市内の小・中学校からごみ減量及び環境美化に関する啓発作品（ポスター）を募集しました。

\*平成29年度の応募総数 48点



### (2) 「平成29年度環境フェスティバル」の開催 （6月3日開催）

6月が環境月間であることにちなみ環境清美センターにおいて施設見学会や市民から公募した方々の参加によるフリーマーケット等を開催しました。フリーマーケットの出店団体数は約45団体でした。



## 3 ごみ減量キャラバン

様々なごみ減量活動に取り組んでいる市民団体、「奈良市ごみ懇談会」と協働で市内の公民館等において「ごみ減量キャラバン」を平成24年度から開催し、ごみの分別排出の啓発やごみ減量の手法の紹介を行っています。平成29年度は4月21日の若草公民館を皮切りに計20か所の公民館・集会所で開催しました。



#### 4 奈良市ごみ分別アプリ

スマートフォン等で使用していただける「奈良市ごみ分別アプリ」を平成27年3月1日から公開しています。

ごみカレンダーやごみ分別事典等ごみに関する多様な情報をアプリで確認することができます。



#### 5 もったいない陶器市

もったいない陶器市は、まだまだ使える陶磁器製食器を持ち寄り、欲しい人に持って帰ってもらうイベントです。

いらなくなった陶磁器製食器は捨てるとう燃やせないごみになってしまいますが、欲しい人に使ってもらうことでごみを減らすことに繋がります。



(表2-2-8) もったいない陶器市開催実績

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
開催回数 (回)	18	36	45
回収量 (kg)	14,333	19,378	21,914
リユース量 (kg)	8,032	11,790	13,426
リユース率 (%)	56	61	61